

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：広報広聴委員会（和泉市府中町二丁目7番5号）電話：0725-99-8154（議会直通）

和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

平成23年第3回定例会は9月13日開会の予定です



フューエル和泉に移転した和泉図書館（6月末撮影）

平成23年第2回定例会終わる

平成23年第2回定例会が6月16日から7月1日までの16日間の会期で開催されました。

初日の16日には「和泉市議会会議規則の一部を改正する規則制定について」などの議案16件や、報告20件などが上程され、常任委員会に付託されました。

17日からは、各常任委員会を開き、議案等について審査を行いました。

また、28日から30日には17人の議員から市政全般に対して一般質問が行われ、活発な質疑・答弁が交わされました。

最終日の1日には、付託された議案の審査報告を各常任委員長が行い、それぞれ可決等されました。また、追加議案として「和泉市保育所設置条例の一部を改正する条例制定について」が上程され、質疑・討論が行われた後、賛成多数で即日原案可決されました。

目次

- 常任委員会審査報告
定例会議決結果一覧表
・・・2～3ページ
- 一般質問、意見書等
・・・3～7ページ
- 第3回定例会の予定
常任委員会視察報告等
・・・8ページ

常任委員会
審査報告

第2回定例会で上程された議案は各所管委員会に付託され審査が行われました。ここでは紙面の都合上、質疑・答弁の一部を掲載します。

総務安全委員会

平成23年度和泉市一般会計補正予算(第1号)

【委員】東日本大震災は津波、原子力発電所の事故という、未だかつてない甚大な被害を生んだ。放射能対策を含む本市としての今後の防災対策は、
【理事者】色々な課題や教訓を得ながら、防災用備蓄品の充実を図ってまいりたい。今後は、国の防災基本計画、地域防災計画の見直しが行われる中で、原子力災害への対策の動向を注視しながら適切に対処していきたいと考えている。

【委員】今回の放射能事故で、今までの安全基準は白紙にし

ないといけないのではないかなと思った。行政の危機管理部門や消防・警察等本部機能のあるところにはせめて放射能の数値を計測する機器等を設置するべきではないか。

【理事者】大阪府立公衆衛生研究所が測定している放射能の空中線量を毎日ホームページで確認しており、現在異常値は出ていないが、市独自で計測する機器の整備についても今後の課題とした。



都市環境委員会

平成23年度和泉市水道事業会計補正予算(第1号)

【委員】約6千万円の災害対策費が計上されているが具体的な内容は、
【理事者】緊急給水用に市内小中学校に設置している耐震性緊急貯水槽5箇所や、各避難所に給水袋を配備し、給水活動迅速化のため避難所及び

町会館などに組立式のウォーターバルーンを配備、崩壊に

よる道路寸断で給水活動が困難となる山間部に河川水などを飲料水に利用する緊急利用浄水装置を配備する。また配水管より直接給水できる仮設給水スタンドなどを配備し、それら資材の分散配備のための倉庫建設を行うものである。

【委員】災害に強いまちづくりの経費としては6千万円で終わるのか、その考え方は、
【理事者】緊急用資材購入を今年度中に実施する費用として補正を行うものであり、それとは別に中期計画として、非耐震管路の耐震管整備を前倒しで施工、和泉中央線全線の耐震化を完了し、被災時においても給水可能とするなど以後の復旧を迅速に行えるようにする。

【委員】それらをあわせて水道料金10%減額分でまかなえるのか。

【理事者】今回の計画はそれ以上の費用を要する。

厚生文教委員会

平成23年度和泉市一般会計補正予算(第1号)

【委員】今年度から市民プー

定例会議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
和泉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務安全常任委員会	可決(全会一致)
和泉市税条例の一部を改正する条例制定について	総務安全常任委員会	可決(全会一致)
和泉市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	総務安全常任委員会	可決(全会一致)
和泉市企業誘致促進条例の一部を改正する条例制定について	都市環境常任委員会	可決(全会一致)
和泉市唐国地区地区計画区域内における建築物の制限に関する条例制定について	都市環境常任委員会	可決(全会一致)
平成23年度和泉市一般会計補正予算(第1号)	各所管常任委員会	可決(賛成多数)
平成23年度和泉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	厚生文教常任委員会	可決(全会一致)
平成23年度和泉市市街地再開発事業特別会計補正予算(第1号)	都市環境常任委員会	可決(全会一致)
平成23年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	厚生文教常任委員会	可決(全会一致)
平成23年度和泉市和泉診療所事業特別会計補正予算(第1号)	厚生文教常任委員会	可決(全会一致)
平成23年度和泉市水道事業会計補正予算(第1号)	都市環境常任委員会	可決(全会一致)
平成23年度和泉市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	都市環境常任委員会	可決(全会一致)
平成23年度和泉市病院事業会計補正予算(第1号)	厚生文教常任委員会	可決(全会一致)
和泉市保育所設置条例の一部を改正する条例制定について	可決(賛成多数)	
その他、議案1件、議員提出議案2件、報告20件、監査報告10件、意見書3件がそれぞれ可決等されました。		

として今後の明確な方向性は出しているのか。

【理事者】今のところまだである。

【委員】いつ頃までに決めるのか。

【理事者】現状の安全性が確保できないことから、やむを得ず今年度は代替措置として国府小学校と和気小学校のプールを開放することにしており、そこでの利用状況や意見を聴取し、それらを踏まえて検討していく。

【委員】既に昨年度アンケートをとっている状況の中で、一定の方向性を示していくのではなかったのか。

【理事者】市民プールが傷んで使用できないからすぐ作るというのではなく、生涯スポーツという観点からプールに対する市民の思いはどうあるのかという点を広く確認し、プールは必要であるかどうかという点を生涯学習推進計画、またスポーツ振興基本計画などの中で今後の方向性を整理していきたい。



市政に対して 17人の議員が 一般質問

第2回定例会で行われた一般質問の内容をここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

スポーツ施設の平日利用 について

杉本 淳 議員

【議員】平日の稼働率を上げるため、民間スポーツ施設のような料金割引制度はないか。

【理事者】平日の稼働率を上げるため「割引」も一つの方法であるが現在、指定管理者制度により利用料金制を採用しており、その手法について指定管理者に投げかけたいと考える。

【議員】主に平日利用者にはどのような方がおられるか。

【理事者】主に退職された方や平日が休みといった変則勤務の方などが予想される。

【議員】特に高齢者の方が今盛んにゲートボールやグラウンドゴルフなどで利用されていると思うが、主に市民球場や光明池緑地公園などを利用されているのではないか。

【理事者】ご指摘のとおり、平日は市民球場の多目的広場などもよく利用されている。

【議員】繰り返しになるが、施設の稼働率を上げるとともに、市民により良いサービスを提供するためにも是非とも「平日割引制度」の導入をご

スポーツ振興について

知覧 正勝 議員

【議員】今後、新規スポーツ施設の設定予定はあるか。

【理事者】現在のところ、具体的な計画は無い。

【議員】本市では、体育協会の軟式野球連盟の登録チームが143団体、サッカー連盟登録チームが25団体ある。スポーツは青少年の心身両面を鍛錬し、スポーツを通じ

て礼儀の習得・人を思いやる心の育成など、人間性を高める上においても非常に大切であると感じるが、本市においては、スポーツに対する情熱が低いと思う。

行政の役目は、子どもたちに夢を与えるものでなければならぬし、その夢を育てる基礎の部分、施設設置こそが本市の使命であると思う。

【理事者】利用者にとって、充実した施設がひとつでも多く設置されることが望ましいが、早急な設置は難しいと考

える。

【議員】なみはや国体の後、グラウンド等の施設整備は一向に進んでいない。

例えば、施設設置を前提とした寄付を提供したらどうか。

【理事者】環境・条件等も検討する必要があるが、市民の意思を無駄にしないよう検討すべきと考える。

その他の質問項目

- ・市制施行55周年事業について
- ①50周年との比較、②各種イベント
- ・敬老祝金の支給方法について

3件の意見書を可決

- ◆ 原子力依存から再生可能エネルギーへの転換を求める意見書
- ◆ 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書
- ◆ 公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

各関係省庁に送付しました。

検討いただきたい。

【理事者】スポーツ施設の指定管理者にこの内容を投げかけると共に経費節減、サービスの向上につながるものは積極的に検討していきたい。

その他の質問項目

- ・自治会等のLED防犯灯について
- ・市立病院の経営形態について

新住宅市街地地域における街づくりについて

小林 昌子 議員

【議員】 新住宅市街地開発法では、公共施設及び公益的施設の整備に要する費用の一部を宅地に割りかけることが認められている。新住区域の住民は、宅地購入時にそれらの代金を上乗せして購入している。

トリヴェール和泉では一丁目単位に一つの集会所用地が原則となっているが、はつが野三丁目では二つの集会所用地が確保され、その地に新住区域外の自治会の会館建設の計画が進められていると聞いている。新住区域外の自治

治会が、用地の費用負担が無い状態で自治会館を建設するのが可能か。可能ならその根拠は。

【理事者】 新住法では受益者は居住者のみに限らず、当該区域を含む広域の住民が受益するものであっても差し支えないと記載されていることから可能と考えている。

【議員】 新住法に記載されているのは利用についてである。私は設置出来る根拠を聞いている。UR及び国交省に文書による確認と回答を要求する。

【理事者】 国交省及び関係機関に確認し、報告する。

■その他の質問項目
・生活排水対策について

災害時における自主防災について

着本 直幸 議員

【議員】 本市の自主防災組織は消火活動に特化しており、組織化が進んでいない。初期の救助活動を地域で取り組むような組織作りはできないか。

【理事者】 自主防災組織は地域防災の基本として必要である。老若男女誰もが参加でき、災害時に地域の連携に結びつく組織作りが必要と考える。消防本部等と連携をとり進めていきたい。

【議員】 今年度、各小中学校に備蓄倉庫を設置し、災害救助活動資機材を配備することだが、各町会に配備す

る考えはないか。また、遊休農地を普段は地域の広場として利用し、災害時には避難場所として活用する考えはないか。

【理事者】 自主防災組織があつてこそ資機材が有効に活用できる。まずは組織作りに取り組みたい。また、遊休農地の活用は災害に強いまちづくりには、有効な手段であると考えている。今後、研究・検討を進めていきたい。

【議員】 地震を初めとする自然災害はいつ・どこで発生するかわからない。「市民の生命と財産を守る」という観点から、積極的な施策の推進を強く要望する。

■その他の質問項目
・遊休農地の利活用について
・学校・園における安全対策

図書館カードについて

浜田 千秋 議員

【議員】 和泉図書館の移転に伴い図書館カードにICタグの貼付を行っているが、市民が切り替えた新しいカードを持って一般の量販店に行ったところ、量販店の盗難防止装置が誤作動したというのは事実か。

【理事者】 現在、市内で2件の誤作動事例の報告があり、原因を調べた結果、図書館カードを3枚以上重ね合わせた状態で持っていることが誤作動することが判明した。

【議員】 事実であればすぐにでも市民

の皆様及び量販店にも誤作動の懸念がある事を周知するべきだが、どのような対応策を取ったのか。

【理事者】 誤作動の原因が判明した段階で、カードの切り替えや新規加入の皆様には注意喚起文書の配布及び図書館内での掲示を行っている。今後は広報及びホームページにおいて周知を図っていく。

【議員】 3月に報告があつたにもかかわらず対応が遅すぎる。今後、同じ様な思いをされる人が出ないように、今出来る対応をスピード感を持って取り組んでいただく事を要望する。

■その他の質問項目
・和泉図書館パンフレットについて

市立病院の経営形態見直しの検討をどのように進めていくのか

山本 秀明 議員

【議員】 3月の一般質問で市長より「市立病院の経営がいかにあるべきか見直していく」との発言を受け、外部評価委員会で検討していくようだが、市立病院の経営形態見直しに向け、どこまで議論できると考えているのか。

【理事者】 外部評価委員会では、「現在の経営形態が適切であるのか」、「他の経営形態を検討するべきか」について議論して頂く。

【議員】 外部評価委員会で、「経営形態を見直すべき」との評価結果が出た後

にはどの様に進めていくのか。

【理事者】 進め方については、評価結果の後、考えていく。

【議員】 現段階では、答えにくいようだが、早期に見直しに取り組めるよう、経営形態ごとのメリット・デメリットや、本市に適用した場合の条件整備等について市役所内部の検討も本格化させるとともに、経営形態見直しについて最終判断が下せるような「有識者会議」の設置に向け、準備検討を進めるべきである。また見直しを進める上で、救急等医療体制や、多額の市民負担をかけ経営している現状を市民に積極的に開示していくべきである。

■その他の質問項目
・教科書採択について

公共施設の耐震について

服部 敏男議員

【議員】市内小・中学校、幼稚園の耐震補強工事の進捗状況は。

【理事者】全部で155棟あるが、耐震補強工事を要する建物は75棟ある。平成22年度末には、この内48棟の耐震補強工事が終了して耐震化率は83%となっている。平成23年度は、北松尾小学校1棟、和泉中学校2棟、富秋中学校2棟の工事をし、平成23年度末には耐震化率は約86%となる。平成24年度に6棟、平成25年度に7棟、平成26年度に4棟、平成27年度に5棟の補強工事をし、耐震補強工事を完了する。

電力について

西口 秀光議員

【議員】和泉市が年間支払う電気代は4億8千万円。節電の取組みが早かったのは評価する。しかし、せっかくの節電も電気代が安くならないと意味がない。

市は大口需要者なのでデマンド値を下げる工夫が別途必要で、市民の税金、更に経済性を重視すべきである。

市もESCO事業を検討してはどうか。市も関西電力以外からのPPS電力の調達に取組んだらどうか。民間や

【議員】東日本大震災で耐震補強した学校が避難所となり、その重要性が再認識された。また東南海地震の発生が早まるとも言われているが、児童生徒の安全のためにも前倒しで耐震補強工事を行えないか。

【理事者】1棟でも早く工事ができるよう努力する。

【議員】公立保育園の耐震未整備の2園についても前倒しで補強工事をしてほしい。

【理事者】幼いこどもの命に関わることであるので、関係課と協議し可能な限り早急に耐震補強整備を進めたい。

■その他の質問項目

・本市の節電対策について

(①本庁等、②市民・事業者に対して)

上級庁・他市では入札しているはずである。結果、電気代や光熱費を大幅に下げたと聞けるが、どうであるか。

【理事者】まず、和泉市として電力需要抑制の取組みと併せて、関西電力からデータを取り寄せ、これを分析し、最大デマンドを抑制できるような対策も今後検討していきたいと考えている。次に、省エネ化による光熱水量の削減手法であるESCO事業は、施設の規模などの条件が合致して初めて導入できる事業と考えている。また、提案いただいたPPSについては、前向きに検討していきたいと考えている。

【議員】十分に検討されることを願う。

学校適正規模について

辻本 孔久議員

【議員】学校教育法の適正規模に至っていない小学校は、市内に三校ある。

その中の一校である南松尾小学校について伺います。今年度の全児童数は、126名。このまま推移すれば、4年後には100名を割り、地域住民はいつかは閉校・廃校になるのではと心配している。校区の高齢化率も急速に進み、現在約30%である。校区内で努力しても、解決できる問題ではない。今後、当学校について、どのような考えをしているのか。

中学校での「武道(柔道・剣道)」必修化について

早乙女 実議員

【議員】二〇二二年度から中学校体育科に武道が採用されるが、市の準備を聞きたい。

【理事者】市内中学校10校の内、柔道を8校、剣道を2校が選択している。今年度は条件整備として、柔道は柔道着50着、ヘッドキャップ50個、畳・畳運搬車を各校に一式整備する。剣道は竹刀80本、防具40セットを各校に整備する。

【議員】柔道の導入校が多いが、中学校の柔道事故で、一九八三年度から二〇一〇年度の28年間で、死亡者が1

【理事者】当校は、昨年度耐震補強工事を実施したばかりであり、現在のところこの校舎で授業をしていく予定である。当校区は、一小・一中という校区であるので、施設は離れているが、小中の連携を一層推進していきたい。

【議員】隣の校区の青葉はつが野小学校の児童数は、現在900名、数年後には、1,000名規模となる。そこで今年度から、光明池春木線より南側の販売を予定している住宅1,400戸を学校選択制にする事を検討してはどうか。児童・生徒に良好な教育環境をつくってあげるのが行政であり、我々大人の責務ではないのか。

■その他の質問項目

・公用車の交通事故多発について

14人もいる。事故防止と安全な柔道指導はできるか。

【理事者】体育科教員免許は、武道を含め全ての領域を指導できることで交付を受けている。昨年の調査で柔道は8割、剣道は5割以上の男性教員が履修している。府教委主催の武道講習会も開催され段位取得もできる。45%が柔道・剣道の指導経験があり、延べ3分の1が教員武道講習会に参加している。体育科では、常に安全面を念頭に指導されるが、今年度は特に柔道、剣道の安全指導研修を中学校体育科教員を対象に実施したい。

■その他の質問項目

・市民プールの休止について

・東日本大震災に伴う国庫補助等の影響について

「自治基本条例」について

大橋 涼子 議員

【議員】 本年3月「自治基本条例」が制定された。9月施行までの準備は進んでいるか。

【理事者】 推進本部を立ち上げ、既存条例との整合性や規則の見直し、住民投票制度の準備を行っている。今後、職員研修や市民への周知を行う。

【議員】 周知はもつと時間をかけてやるべきだと思う。職員がまず共有し、その上で市民に向けて丁寧な発信をして欲しい。条例は、情報共有の原則、市民の知る権利及び行政の情報提供について定めている。市民と行政の持つ

介護保険制度の利用のあり方について

岡 博子 議員

【議員】 6月に成立した介護保険法の改正ポイント。

【理事者】 24時間対応の訪問サービス、痰の吸引や経管栄養を介護職ができる点、配食や見守りの生活支援が市町村の判断でできる点などである。

【議員】 国は入所者を在宅へと、具体的な指針も示さずこの法律を進めている。深夜訪問の不安や痰吸引の危険性などがあり、安易に実施しないよう要望する。現在市内の介護施設入所者と待機者数は。

【理事者】 特養6施設400床で市民

情報量に大きな差があるが、情報共有実現に向け、積極的な取り組みをどのように行うのか。

【理事者】 一方だけの発信ではなく、意見交換の場など双方向のやりとりをしながら着実に深めていく。

【議員】 情報共有する一つの方法として「タウンミーティング」を検討していただきたい。新しい形のまちづくりとしての「公民協働」をしつかり市民に示すべきである。是非とも中学校単位での開催を望む。また「ちよいず」を再検討し、誰もが納得する「公民協働」を具現化するものとして育てていただきたい。

■その他の質問項目
・予算への影響について

利用287人、待機者327人。老健4施設380床で市民利用204人、待機者79人などの状況である。

【議員】 そもそも施設が足りないと思う。また、広域施設とはいえないまでも市民利用が少ない。他市と比べ充実しているのであれば市民利用を増やす指導を要望する。在宅サービス利用限度額に対する利用の実態はどうか。

【理事者】 要支援1、要介護5で平均約65%の利用である。

【議員】 生活苦で使いたくても使えない状況もある。利用料の減免制度と、これら具体的な利用実態を次期の運営協議会に資料提出してほしい。

■その他の質問項目
・子どもへの福祉施策とは

住宅リフォーム助成制度について

矢竹 輝久 議員

【議員】 全国の自治体では、中小企業の仕事づくりや地域経済振興を目的とした住宅リフォーム助成制度が広がっているが、市で実施する考えはないのか。

【理事者】 府下近隣市町村の動向を注視し、研究していく。

【議員】 この事業に対する国の直接の補助制度はないが、社会資本整備総合交付金を活用でき、取組みを支援していくとの国会答弁があるが。

【理事者】 大阪府はこの交付金を活用して、道路整備を促進し、災害に強い

職員の交通事故報告について

須藤 洋之進 議員

【議員】 議会に報告される交通事故で市の責任割合が100%である件数は。

【理事者】 平成19年は3件中1件、20年は3件中2件、21年は7件中6件、22年は6件中5件などとなっている。

【議員】 職員による公務中の交通事故の内訳は。

【理事者】 21年度は車両保有台数が118台で、保険料の掛金約193万円、自損事故を含めた事故件数は17件、支払われた保険金が約441万円。22年度は車両保有台数120台で、保険料

まちづくりなどを実施しているようだ。

【議員】 府の考えは聞いておくが、市が実施しようとするればできるのではないのか。交付金を活用する考えはないのか。

【理事者】 本市は、府の趣旨から道路整備事業にあてており、交付金を活用する場合、耐震診断に伴う住宅リフォームやバリアフリーなど高齢者を対象とする助成など、全庁的な議論が必要となり調査・研究する必要がある。

【議員】 一般のリフォーム助成制度ではなしに、既存の補助制度とリンクさせる発想もありうるが、前向きに研究していただきたい。

■その他の質問項目
・民間建築物について（空き家対策）
・図書館行政について

の掛金約191万円、事故件数は15件、保険金が約240万円となっている。

【議員】 職員への安全運転の意識付けや事故防止の機運を高めるための方策として、例えば市長をはじめ職員間の信頼感の醸成や無事故継続中の標語など安全運転の意識を職員に訴えかけるような対策を講じてはどうか。

【理事者】 事故防止に向けて、議員ご指摘のように前向きに検討してまいりたい。

【議員】 運転中に注意力が散漫にならないような体制も同時にとってもらいたいことを要望する。

■その他の質問項目
・都市経営にチェンジ
・本市には紛らわしい道がある

和泉市の道路行政について
(北信太駅前線)

石原 日出子 議員

【議員】 鶴山台団地住宅開発にあたり当時の日本住宅公団と和泉市との間で協定書が交わされ、北信太駅前線に関して事業費の負担として3億円を公団が負担するとなっている。その負担金はどうなっているのか。

【理事者】 昭和49年7月に公団より3億円を収入している。使途については、昭和50年度に駅前線並びに駅前無料駐車場用地の取得等事業に2億円を予算化。残金1億円を基金に積立。平成3年度北信太駅前線のバス転回路の拡幅

子育て支援について

吉川 茂樹 議員

【議員】 子どものアナフィラキシーショックに対するエピネフリン（エピペン）の助成について本市の考えをお伺いしたい。

【理事者】 アナフィラキシーいわゆる急性アレルギー反応については、血圧の低下・気管支麻痺による呼吸困難に陥ると聞いており、アナフィラキシー反応を起こしたときは、エピネフリンを投与し速やかに医療機関に搬送しなければ、状態の悪化や最悪死亡といった事態を招くことが危惧されている。

の用地買収費の一部に基金より1億円を充当。現時点では当時の公団より受領した3億円については、全て北信太駅前線関連事業に充当したものと考えている。

【議員】 北信太駅前線整備については、過去の議事録においても非常に前向きな答弁をしている。しかし現状は何も変わっていない。和泉市として北信太駅前線整備についてどう考えているのか。

【理事者】 和泉再生プランでは、当該道路の事業化は再生プラン期間である平成27年度まで凍結されている。それ以降に事業手法等含め検討する。

■その他の質問項目
・地域コミュニティについて
(町会・自治会の現状)

今後はこれらを踏まえ、方向性も含め助成に向けて検討して参りたいと考えている。

【議員】 本年7月より乳幼児医療費助成の一部拡充（入院医療費の助成対象者を小学6年生まで引き上げ）がなされるが、通院医療費についてもたとえ一学年でも拡充するべきと考えるが、本市の方向性をお伺いしたい。

【理事者】 少子化対策の重要な施策のひとつであると認識しており、今後の通院医療費の助成対象年齢の拡大には、多額の医療費が必要となることから、府下各市の状況、また本市の財政状況を鑑みながら検討して参りたい。

■その他の質問項目
・和泉市の防災と減災について

固定資産税評価の決め方について

赤阪 和見 議員

【議員】 公共用地の買収に協力したにもかかわらず、残地の資産税額が著しく高くなる。救済措置を考えられないか。

【理事者】 公共用地買収に当たって、居住用の建物が無くなったことにより、残地の資産税額が上昇する場合がある。買収時に所有者に十分な説明を行っていく一方、公共事業の促進という観点から、買収に伴い発生した残地については、その面積、形状、用途などを勘案した減額方法を講じる必要があると

考えており、減額の程度、対象などを検討していく。

【議員】 私道の場合、路線価からの土地の間口の取り方や上下水道が敷設されていない場合の路線価の設定はどうか。

【理事者】 私道に付設された路線と該当土地が接する部分を間口としているが、その利用に制限がかかるので、評価替えに向けて検討したい。また、上下水道が敷設されていない場合、一定の減率補正を行っている。

■その他の質問項目
・今までの一般質問から確認

一般質問に
『一問一答方式』を本格導入

議員が行う一般質問において、一問一答方式を昨年の6月定例会から約1年間試行的に導入していましたが、今定例会から質問項目ごとに質疑と答弁を繰り返す一問一答方式を本格的に導入することになりました。この一問一答方式は回数の制限はなく、制限時間も答弁を含め60分とすることで論点をより明確にし、内容を分かりやすくお伝えしようとするものです。

請願者の意見陳述が可能に

請願とは、市政に関する事柄について市民の皆様が直接市議会に要望できる制度で、個人でも、法人・団体でも提出することができ、議員の紹介が必要となります。

本年の9月定例会から提出された請願を所管する委員会で審査する際に、請願者本人が趣旨説明として請願を提出するに至った思いや意見を述べるできるようになりました。

※詳細については市議会ホームページをご覧ください。

トピックス

常任委員会視察報告

他市の先進事例を学び、市政に活かすため、各常任委員会が行政視察を行いました。内容は次のとおりです。

■都市環境委員会……………

日 程：7月5日～6日

視察先：①岡山県岡山市、②岡山県倉敷市

目 的：①西大寺緑花公園・百花プラザの施設概要及び現地視察について、②グリーンくらしきエコアクションについて、電気自動車貸出制度及び電気自動車購入補助制度について

■総務安全委員会……………

日 程：7月11日～12日

視察先：①埼玉県北本市、②東京都豊島区

目 的：①市税10%減税について、住民票の写し・印鑑証明書のコンビニ交付サービスについて、②災害時要援護者対策について



■厚生文教委員会……………

日 程：7月28日～29日

視察先：①岡山県倉敷市、②広島県福山市

目 的：①介護支援いきいきポイント制度について、②認定こども園の概要及び観こども園現地視察



今回で広報広聴委員の任期を終了いたします。任期中は皆様方のおかげで、大過なく「市議会だより」を発行できましたことに深く御礼申し上げます。今後ともご愛読くださいますようよろしくお願い申し上げます。

編集後記

〈広報広聴委員会〉
委員長 早乙女 千実
副委員長 山本 敏男
委員 杉本 正孔、辻本 充久、藤本 敏久、服部 秀久、山本 秀久、山本 秀久、山本 秀久



傍聴のご案内

	本会議	委員会
定員	40名 (車いすスペース3台分)	7名 (音声傍聴10名)
受付時間	開会予定時刻の15分前から	
場所	議場 (入口は1号館3階税務室資産税横) ※車いすの方は、1号館4階の 市議会事務局までお越し下さい	3号館3階 委員会室

議場と委員会室の受付にある傍聴券に住所、氏名をご記入いただくだけで傍聴できます。

平成23年第2回定例会の傍聴者数

(本会議／傍聴者のべ人数)

6月16日～7月1日(本会議5日間) 計48人

(委員会／傍聴者のべ人数)

6月17日～21日(3委員会) 計1人

第3回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合もありますので、詳しくは電話：0725-99-8154市議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
9月6日(火)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
9月13日(火)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
9月14日(水)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月15日(木)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月16日(金)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月20日(火)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
9月27日(火)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
9月28日(水)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
9月29日(木)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
9月30日(金)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
10月3日(月) ～7日(金)	本会議(役員選挙)	議 場	午前10時

市議会ホームページ リニューアルのお知らせ

和泉市議会

検索



〈ホームページアドレス〉

<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

市議会のことを市民の皆様にも身近に感じていただけるようホームページをリニューアルしました。

旧ホームページで提供していた情報に加え、新たに『市議会の概要』などについても掲載していますので、この機会にぜひご覧ください。